

# 位置計算

他のフィールドの値から位置を計算します。

## 基本情報

カテゴリー	計算
利用できるプラン	Standard, Premium, Enterprise

## アプリ

### 初期画面

### 表示画面

### 編集画面

編集画面を表示した時に、値プロパティに指定した式が処理されて値が自動設定されます。  
直接編集することはできません。

## Platio Studio

### 基本プロパティ

(※)のプロパティについて詳しくはミニガイド「フィールドプロパティ概要」を参照してください。

【ミニガイド「フィールドプロパティ概要」URL】

[https://plat.io/ja/wp-content/themes/platio/pdf/support/guide/platio\\_mguide\\_vol01.pdf](https://plat.io/ja/wp-content/themes/platio/pdf/support/guide/platio_mguide_vol01.pdf)

(\*)は必須、指定しないとデータポケットを保存できません。

高さ	指定した地図を、アプリ上で表示するサイズを指定します。 中／大きめ／大きい（初期値）／最大
ズームレベル	データポケットの入力シーンで入力するときに、取得する地図のズームレベルを指定します。 最小／小さい／小さめ／中（初期値）／大きめ／大きい／最大
値 (*)	数値を返す式を指定します。式については、Platio 式を参照してください。

## プロパティ例

例)

「cXXXXXXXX」のカラム ID をもつスイッチフィールドがオンのときに現在の位置を設定する場合

値：cXXXXXXXX ? "current" : undefined

※ 手動で入力せずにレコード作成・更新時にスイッチをタップして自動設定したい場合に便利です。

値プロパティのPlatio 式の例については、[ミニガイド「計算フィールドとPlatio 式」](#)を参照してください。

【ミニガイド URL】

[https://plat.io/ja/wp-content/themes/platio/pdf/support/guide/platio\\_mguide\\_vol05.pdf](https://plat.io/ja/wp-content/themes/platio/pdf/support/guide/platio_mguide_vol05.pdf)

## 高度なプロパティ

「高度なプロパティを表示」をクリックしたときに表示されます。表示した後、隠すには「高度なプロパティを隠す」をクリックします。

(※)のプロパティについて詳しくはミニガイド「フィールドプロパティ概要」を参照してください。

【ミニガイド「フィールドプロパティ概要」 URL】

[https://plat.io/ja/wp-content/themes/platio/pdf/support/guide/platio\\_mguide\\_vol01.pdf](https://plat.io/ja/wp-content/themes/platio/pdf/support/guide/platio_mguide_vol01.pdf)

説明 (※)	データポケットの入力・編集シーンで、フィールド名の下に表示する説明を記述します。
条件付き表示 (※)	データポケットの入力・編集シーンで、フィールドを表示する条件を指定します。